

## 豊田市 放課後児童施設が竣工 「木造建築でつくる『第二の我が家』」引き渡し

### ニュースポイント

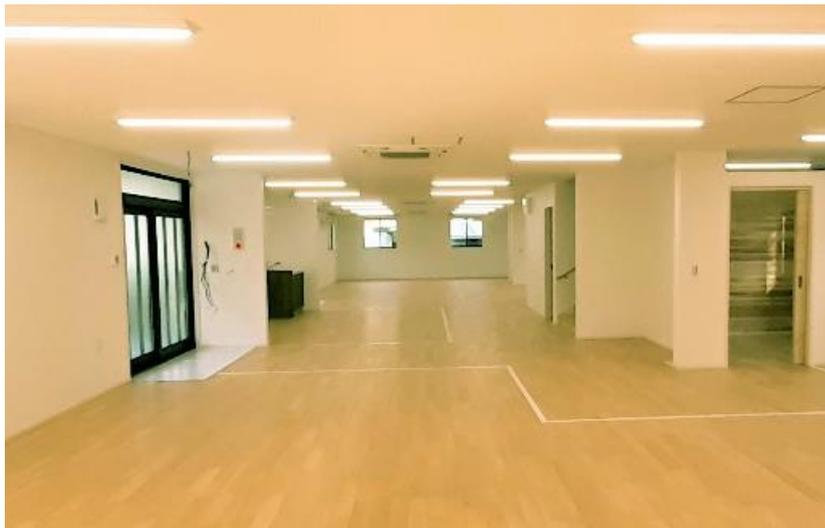
ナイス株式会社（本社：神奈川県横浜市、社長：杉田理之）はこのほど、愛知県豊田市が2020年に実施したPPP方式<sup>※</sup>による「豊田市立小清水小学校ほか1校放課後児童施設取得事業」の公募型プロポーザルにおいて採択された、豊田市立小清水小学校及び同市立堤小学校の放課後児童施設を竣工し、2021年11月25日に豊田市への引き渡しが完了しましたので、お知らせいたします。

本施設は、「木造建築でつくる『第二の我が家』」をコンセプトに、構造を木造とし、構造材及び内装材の一部に各6.1㎡の豊田市産の木材を使用しています。また、高い耐震性能を有する木造一戸建住宅を提供してきた弊社のノウハウを生かし、本施設では「耐震等級3相当」を実現するとともに、一戸建住宅と同じ構造及び内装とすることで、児童にとって安全で心地よい空間としています。

更に、壁の断熱材には、国内で製造される唯一の木質繊維断熱材「ウッド・ファイバー」を採用することで、木ならではの高い調湿性、吸音性、蓄熱性を発揮し、快適で健やかな環境をつくり出します。加えて、日常から木に触れる機会を作ることで、地球温暖化防止のためにできることは何かなど、子供たちが未来の地球環境を考えるきっかけとなる場を提供しています。

なお、弊社は、今年実施された「豊田市立青木小学校放課後児童施設取得事業」においても提案が採択されており、豊田市の公募型プロポーザルにおいて2年連続の採択となります。

※PPP方式とは、Public（公共）、Private（民間）、Partnership（連携）の略で官民連携手法の総称です。このたびの公募型プロポーザルは、設計・施工を一括して民間事業者が発注することで安価かつ早期に建設を行うことを目的としたものです。



1階に設置された活動室は、柱がなく、広々と使いやすい空間を演出



子供の安全を考え、入り口付近にはスロープを配置



窓からは光が差し込み、木のぬくもりを感じられる活動室

### 【豊田市立小清水小学校・堤小学校放課後児童施設 建築概要】

建築面積 : 258.49㎡  
延べ床面積 : 478.76㎡  
構造 : 木造2階建て

設計・施工 : ナイス株式会社  
工期 : 2021年7～11月  
木材使用量 : 約118㎡  
地域産木材使用量 : 約12㎡（豊田市産木材）

### お問い合わせ先

ナイス株式会社 管理本部 広報部 堀井・森 TEL：045-501-5048 FAX：045-502-5891  
〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央 4-33-1 ナイスビル 8階